

議事概要記録

開催日時	平成28年1月16日(土) 16:00 ~ 18:00	開催場所	済生会和歌山病院7階 多目的ホール
会議種別	平成27年度 第5回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、蓬台 克之、丸澤 佳子、瀧口 良重栗林 伴有、久保 光史、神藤 洋次、脇村 小津江、石井 啓子、田原 靖子、勝山 浩樹、村田 正吾、17名		
欠席者 <敬称略>	なし	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア)公益事業活動 (イ)定款・渉外 (ウ)災害対策委員会 (エ)精度管理 (オ)データ標準化 (カ)会誌編集 (キ)ホームページ (ク)会報 (ケ)月例行事予定表 7. 連盟 8. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度事業計画案・予算案について 2. 定款変更について 3. 役員立候補受け付け(告示) 		
決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。 ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技全国幹事会・賀詞交換会・日臨技臨時総会が来週末東京で行われる予定と報告があった。</p>		

和臨技海外人材育成事業（アジア研修）について、第 56 回近畿支部医学検査学会・第 32 回 IFBLS 国際学会・第 65 回日臨技医学検査学会に和臨技事業として学会報告する予定と報告があった。

医療従事功労者賞贈呈式（畑副会長受賞）に来賓出席する予定と報告があった。

日臨技の検体採取講習会について、大阪会場（関西医科大枚方）運用を大臨技に委託されているが、負担が大きいことから近畿支部内持ち回り案が支部幹事会で提案された。よって 4 月以降に和臨技からも派遣が必要な可能性が有ることの説明があった。

常務理事会報告

次年度の事業計画案・予算案について審議したと報告した。修正等が必要と判断した事業は担当者に差し戻し、再提出した計画案・予算案を本理事会にて審議したのち、承認を得たいと報告した。

例年の施設連絡長会議にて、日臨技宮島会長の組織強化セミナーを行うことを確認したと報告した。

次年度役員改選について、候補者告示を 2 月 20 日頃に行う日程で調整したことを報告した。

衛生検査所・調査指導員の推薦について、近畿支部長に和歌山からの擁立を断ることで調整したが、擁立が必須とのことにより、久保精度管理委員長を推薦したことを報告した。

次年度の定時総会・和臨技オリエンテーション・学術合同研修会の日程調整について報告した。

日臨技免疫部門の精度管理委員として、久保理事に対する推薦が日臨技より会長を通じて打診があったことを報告した。

定款検討委員会を同時開催し、定時総会について「毎年度事業終了後 3 カ月以内に開催すること」へ変更する旨の準備に入ることを報告した。

事務局報告

9 月 20 日に災害支援等に関する規程が制定されたことを報告した。

10 月 24、25 日に開催した日臨技地域ニューリーダー育成研修会に木下学術部長を派遣したことを報告した。

10 月 25 日にピンクリボン南紀事業報告があった。

10 月 26 日に県医務課より済生会有田病院 森下拓哉 技師に対して、平成 27 年度保健衛生（医事）功労者に対する知事感謝状決定と謹呈式の通知があり、11/30 日に謹呈式が行われたことを報告した。

11 月 4 日に県医務課より和歌山県精度管理専門委員の推薦依頼があり、和歌山県立医科大学附属病院 大石千早 技師を推薦したことを報告した。

11 月 14 日医療セミナー in わかやまと全国健康と検査展が行われたと報告した。

12 月 6、7 日に開催された厚労省院内感染対策講習会に、国立南和歌山医療センター 高木亜衣 技師を派遣したことを報告した。

12 月 12 日に和臨技災害フォーラムが行われたことを報告した。

12 月 17 日に県医務課より国保日高病院 畑忠良 技師に対する医療従事功労者賞の受賞決定通知があったことを報告した。

学術部報告

平成 27 年度学術部研究班班長班員会議を 1 月 23 日新橋ビルにて開催予定と報告があった。

学術部活動用にノート PC 2 台を購入する予定と報告があった。

日臨技推進事業について19件の採用が決定されており、精度管理報告会で20件となる予定と報告があった。

平成27年度日臨技近畿支部研修会は、11月和歌山にて微生物部門を開催、2月に血液検査部門と生物化学分析部門を兵庫と大阪で開催予定と報告があった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

医療セミナーinわかやまは11月14日に行われ、予想以上の一般市民の参加者（頸動脈エコー223名，講演入場者数は241名）であったと報告があった。

同時開催の検査展について、医療セミナーの報告内容に加え、検査専門医による検査相談に42名の受診者があったことを日臨技に報告した旨を報告した。

ピンクリボン紀南2015熊野本宮ライトアップが10月11日に行われたと報告があった。また、熊野リ・ボーンウォークの参加者は25名、乳がん講演加者は200名以上と報告があり、特に今年度は北斗晶さんの乳がん報道があったためか、家族での参加が多く見受けられたとの報告であった。

定款・渉外

検査説明と相談が出来る検査技師育成講座について、今年度は19名の参加であったと報告があった。次年度は3か年計画の最終年にあたるので、参加者が出ていない施設を中心に参加を促すよう協力を頂きたいと要請があった。

災害対策委員会

大規模災害における臨床検査について考える（2015）が12月12日に行われ、参加者数62名であったと報告があった。災害経験がある新潟大学魚沼基幹病院 阪西清 技師、神戸常盤大学保健科学部 坂本秀生 教授からの講演に加え、県警での災害対策について和歌山県警察本部 堀内義樹 課長補佐、行政と臨薬卸団体との協定やネットワークについて（一社）日本臨薬卸連合会 竹内和彦 理事から講演が行われたと報告があった。

精度管理

和臨技サーベイ集計が行われており、今月末の報告書完成を目指していると報告があった。また、1月23日の班長班員会議と同時に精度管理委員会を開催すると報告があった。

データ標準化

施設認証について、済生会和歌山病院と国保日高病院が申請中と報告があった。

JCCLS共有基準範囲の進捗について質問があった。現状としては流動的と言うことであった。

会誌編集

11編の投稿があり、出版に向けて校正の段階であると報告があった。

ホームページ

特になし

会報

検査室の取材先紹介や事業報告投稿などの要請あった。次号発行について、今年度末までの事業活動が中心となり、総会前に発行するとのことであった。

月例行事予定表

行事予定表広告のサイズ指定を撤廃し、誌面の1/4～1/5程度と緩和する方向であると報告があった

連盟報告

宮島よしふみ後援会が発足されたと報告があり、50万人入会を目標とした入会協力の要請があった。

11月27日に県選挙管理委員会に対し、5名の役員による政治団体設立の届出を行ったと報告があった。

今後は会員の連盟への加入の促進や後援会入会の促進を行い、3月5日には連盟セミナーを予定であるとのことであった。

8. その他

事務局より、次年度の賛助会員募集と各種誌面広告の募集要項を配布する旨の報告をした。

審議事項

次年度事業計画案・予算案審議

各部署より提出された次年度計画案・予算案（常務理事会後の修正案）について審議した。全ての事業計画案・予算案について承認された。

引き続き、経理部より承認された予算案を元に作成された平成28年度収支予算書（案）について説明があり、審議した。若干の科目名称の修正を行うこととし承認された。

講師料等が発生した場合、和臨技としてマイナンバー（社会保障・税番号制度）の扱いについて対策は有るかと質問があった。和臨技としては個人情報扱う旨の特定個人情報取扱規程（仮称）や非開示に関する誓約書、講師に対する個人情報の提供願いや明確な利用目的の予告等の運用を早急に行うこととした。

	<p>定款変更について</p> <p>総会については毎年5月に定時総会を開催することが定められているが、「毎年度事業終了後3カ月以内に開催すること」とした変更を次回総会にて承認を得られるよう準備に入ることが承認された</p> <p>役員立候補受け付け（告示）について</p> <p>平成28・29年度役員立候補受付を2月22日締め切りで行い、2月末までに立候補者名簿を会員に告示したのちに、総会承認を得ることが確認された。</p>				
記録作成	平成 28 年 1 月 25 日	氏名	田中規仁	提出	平成 28 年 1 月 25 日

※諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可